

動物実験に関する現況調査票

山陽小野田市立山口東京理科大学

2022年7月

3. 年度ごとの承認された動物実験計画数

動物実験計画数	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	年度
	19件	10件	4件	0件	件

4. 年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数

教育訓練受講者数	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	年度
	92人	36人	28人	0人	人

5. 実験動物飼養保管施設(施設)の現況

施設の総数： 1箇所	施設の総延べ床面積**： <input type="checkbox"/> 300㎡未満 <input checked="" type="checkbox"/> 300㎡以上
------------	--

** いずれかにチェックを入れてください。

施設の名称	施設長の職	施設管理責任者の職 (関連資格・経験年数)	動物種	最大飼養頭数 (概数)
生命科学研究施設	薬学部薬学科 薬理学分野 教授	薬学部薬学科 薬剤学・製剤学分野 教授 (関連資格：なし) (経験年数：20年)	ラット	750
			マウス	6,100

施設の所在地

所在地	施設の名称
山口県山陽小野田市大学通1-1-1	生命科学研究施設

6. 動物実験に関する情報公開

当該情報の公開場所 (URL) : http://www.socu.ac.jp/information/animal.html

7. 国立大学法人動物実験施設協議会又は公私立大学実験動物施設協議会入会の有無

<input type="checkbox"/> 国立大学法人動物実験施設協議会会員 <input type="checkbox"/> 公私立大学実験動物施設協議会会員 (会員番号：) <input checked="" type="checkbox"/> その他(上記の会員ではない)
--

公私立大学実験動物施設協議会会員の場合は会員番号を記入ください。

8. 自己点検・評価報告書の作成に際して自己点検・評価事項チェック票での確認

URL: <http://www.m-kenshou.org/> 行った

9. 特記事項

(動物実験に関連した、機関の特徴や特殊事情)

- ・ 本学の動物飼養保管施設はラット及びマウスの飼育を中心とする施設であり、飼育環境として SPF とコンベンショナル (準SPF) を選択できる。また、施設内に複数の実験室を設けてあり、本施設内で動物実験を完遂可能な施設となっていることから、飼養保管施設からの動物の搬出は基本的に認めていない。
- ・ 飼養保管施設から動物を搬出する際は、動物搬入時と同様の梱包を施すことにより、搬送中の逸走防止に努めている。
- ・ 飼養保管施設外での動物使用は、7号館の生物系実習室に限り例外的に認めている。
- ・ 飼養保管施設では使用規則を定め、これに則って施設管理責任者 (動物実験運営委員会委員) と施設管理者 (動物実験委員会委員) を置いている。動物飼育等に関する他の、動物実験の実施状況を把握し、実験実施者に適切な指導・助言を行っている。
- ・ 魚類を用いた研究については、計画の是非のみならず、飼育環境や使用数について、通常の実験と同様に管理している。
- ・ 家庭愛玩動物を用いた学外での研究が本学研究者により計画されたが、本学動物実験委員会として当該計画の妥当性及び倫理性における判断を行った。
- ・ 愛玩動物を用いた研究計画についても、その経過・結果に関する報告を受けている。